

令和三年度 作新学院大学女子短期大学部

入学式 式辞

春風を心地よく感じるこの良き日に、作新学院大学女子短期大学部に入学された新入生の皆さん、おめでとうございます。

今回はご承知の通り、新型コロナウイルスの感染対策として学生及び大学関係者の安全を考慮し、やむを得ず保護者の皆様の不参加をはじめ、式を縮小するなど、こうした変則的形での挙行になりましたことは大変残念なことですが、何卒ご理解をいただければと考えております。

さて、新入生の皆さんは、この清原のキャンパスから、短大生として第一歩を踏み出すことになるわけです。短大生としての自覚と責任をもって学び、行動していく上で、まず理解していただきたい点は、本学の「作新民」という建学の精神です。

「作新民」とは、日々新たに創造していく人間の育成を意味しています。すなわち、自ら主体的に考え、知識を行動につなげ、心豊かな人間として自己を日々変革していくことによって、目の前に次々と生じる課題を的確に解決していく生き方とその育成をめざす大学であるということです。皆さんは、この「作新民」をこれからの学びや生活の指針として、心にしっかりと留めながら、大学生活を送っていただきたいと思えます。

これからの時代は、自然災害や今回のコロナ感染でもわかる通

り、不透明かつ不確実な時代の中で、想定外のことが数多く起こってくるのが予想されます。そうした時代にしっかりと自分の頭で考えられ、さまざまな情勢や他人の考えに流されることのない、確固とした人間力を養っていく必要があります。

みなさんは、これから幼児教育のプロを目指していくわけですが、人間にかかわる仕事で大切なことは、何よりも相手の立場に立って感じられ、考えられる柔軟な思考力と共感力、そして実践力です。

二年間という短い期間の中で、数多くのプログラムが組み立てられます。ぜひ、健康に留意し、豊かな人間性を養いながら、幅広い教養と専門的知識、そして実習などを通しての実践力を大いに修得していただきたいと思います。

そのために我々教職員は、たとえコロナ渦であっても、安全・安心を基本として、授業や、様々な行事や活動において、これまでの経験と反省を踏まえた、充実したものを皆さんに提供し、全面的に支援して参ります。

また、大学という場合は、ある意味、自分自身をじっくりとみつめることができる貴重な場所であるとも言えます。教員や友達とも大いに語り合いながら、自己理解と合わせて他者理解を深め、自分の可能性を広げていただきたいと思います。

また、学外における様々な活動にも積極的に挑戦していただきたいと思います。一つは、ボランティア活動といった社会活動

です。もう一つは学生が自主的に取り組む課外活動です。

本学では、課外活動を大学教育の一環として位置づけ、クラブ・サークル活動を支援し、学生時代にしかできない貴重な体験を奨励しております。ぜひ、新入生の皆さんも、こうした学外での活動や課外活動に積極的に参加していただきたいと考えます。

結びに、本学は、自然環境にも恵まれ、明るく自由な雰囲気の中で教育と研究が行なわれ、在学生も活発に活動しています。ぜひ皆さんも、本学のこの自由の精神と実学の精神が溢れる雰囲気の中で、学問に勤しみ、実践知を蓄え、夢を膨らませ、サークル活動に取組み、未来を拓いていく人間として成長していくことを教職員一同心から大いに期待し、式辞と致します。

令和三年四月五日

作新学院大学女子短期大学部 学長 渡邊 弘